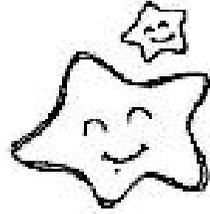


# QSK にぬふあぶし

No.292

ね  
子の方向の星



## 精神療養者家族会 おあしすコール 2021年度 第17回 定期総会

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

沖縄市の精神療養者家族会おあしすコールでは、コロナ禍ではありますが、感染予防対策をしながら、去った5月22日（土）に第17回定期総会が開催されました。

総会では、沖縄市副市長 與那嶺克枝様と沖福連会長 山田圭吾様より来賓のご挨拶を賜りました。

ご多忙の折、会へ参加していただき感謝申し上げます。

その後、おあしすコールで実施している家族会事業（家族のつどい、勉強会、交流会等）とピアサポート事業（家族相談、家族による家族学習会、子どもの立場家族学習会等）について実施報告、事業計画報告などを行いました。



事業計画の一部ではありますが、昨年度は子どもの立場のご家族に関わる機会が増え、本年度から、子どもの立場の相談員が家族相談員に加わりました。

またコロナ禍で直接交流会をすることが難しいご時世でZoomを活用しての意見交換会などが活発に開催されています。

Zoomは県内の交流にとどまらず、県外の方とも繋がることができ、おあしすコールでも積極的に参加させていただき刺激をもらっています。

総会の後は、沖縄市障がい者基幹相談支援センター 所長 島さんより、『沖縄市の相談支援体制について』講演していただきました。



2021(令和3)年度 沖縄県障がい者委託訓練

## 介護職員初任者研修科

### 8月開講 受講生募集します!

募集期間 6月1日(火)～6月25日(金)

**申込方法** 住所を管轄するハローワークに職業相談の上、お申し込みください。

《ハローワーク連絡先》那覇 098-866-8609、沖縄 098-939-3200、名護 0980-52-2886

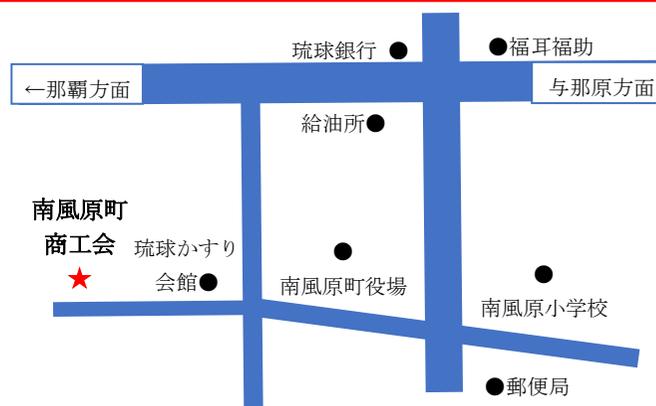
宮古 0980-72-3329、八重山 0980-82-2327

今年度は開催実施  
場所が変わります!

《訓練実施場所》

南風原町商工会 2階

南風原町字本部 158



訓練期間 8月2日(月)～10月29日(金) 3か月間

訓練実施場所 南風原町商工会 2階 (南風原町字本部 158)

訓練委託先 公益社団法人沖縄県精神保健福祉会 電話 098-889-4011

沖縄県立浦添職業能力開発校 電話 098-879-3560

※詳しくは最寄りのハローワークへお問い合わせください

#### 雇用保険受給手続きをされる方

令和3年7月21日(水)までにお手続き下さい。この期限内に手続きを完了しない場合、訓練受講者に対する雇用保険給付の特別な措置を受けられない場合があります。

#### 求職者支援制度対象者(特定求職者)の方

初回訓練相談締切日は

令和3年6月24日(木)までです。

ハローワークでの訓練の相談・求職者の相談・求職登録は必須事項です。必ず行ってください。(厳守)



## プラザのコラムニスト紹介



『吾輩も猫である』から始まる、日々の様子を綴ったコラム。はじめはプラザへの連絡メールに添付されていた文章なのですが、あまりにも巧みで面白いので、了解を得てプラザの機関紙「マシュマロ」に掲載しています。読み物として楽しみに待っている読者もいるんですよ。今回は、過去に掲載した2作品をご紹介します。

プラザの文豪・猫さんの日々の奮闘をお楽しみください☆

### 一、我輩も猫である。名前は割愛。

とある朝、トイレのため起床しようとするが腰が・・・

人間にはギックリ腰という怖い病があるのは知っていたが、平素四つ足歩行を是とする私がなぜ腰痛になったのか？ 時折、横着して2足歩行をしていたのが悪かったのかしらん。動物病院で診察を受けようと思ったが、相手にされない可能性があった。なんせ獣医の猫の定義は、私とちょっとずれている。「猫のくせにメガネをかけておるのか」「宇津救命丸でも飲んでろ」とおっ返されては困る。

やむなく人間を相手にする病院を受診。湿布・飲み薬を頂戴し、翌日は仕事を休む。猫だって働かなくては食べていけないご時世である。前足、後足、尻尾の先に雑巾をはめて、せっせと清掃に勤しむ身である。翌日より出勤。猫の就労に理解のある職場で、大丈夫かと声をかけていただいて有難い。尻尾を立てて感謝の意を示した。有難し有難し。



### 二、我輩も猫である。鬱陶<sup>うっとう</sup>しいことに兄猫がおる。

彼は人間様相手に、媚を売ることに余念がない。自分の可愛さを誇大に演出しようとする。「ちゅ～うる」欲しさに、四肢を揃えつつ小首を傾げ、猫なで（られ）声を奏でてみせる。もっとも我輩から見れば、狸<sup>たぬき</sup>の隠居さんが下手な詩を吟じておるようにしか見えない。当然の理として彼を「狸」「狸」と呼んでやる。彼是我輩を「鼠<sup>ねずみ</sup>」「鼠」と呼び返す。

確かに我輩は鼠ヅラ。人間のお子様用のメガネをかけ、児童用の帽子を被る。メガネは貧<sup>せしやく</sup>相な鼻からずり下がり、出っ歯にかろうじて引っかかっている。餌を喰っている時、咀嚼<sup>そしやく</sup>に合わせてメガネがカタカタ動く。

我輩は、兄猫のように人間様に全面的には依存しない。自分の「ちゅ～うる」代は、この原稿の掲載料で購<sup>あがな</sup>うつもりである。原稿料を稼ぐためなら小首を傾げて猫なで（させ）声を奏でてみせるのも悪くない。

（ふれあいプラザ宮古・荻野）

相手の気持ちを汲み取り、自分の「思い」を伝える

一般向け

## Bowl 家族コミュニケーション

# ファミココ



2021年開催日程	テーマ
5/5 水 9:30 - 11:00	Bowl から復職した研修生の声
6/17 木 16:00 - 17:30	基本のうつ病について
8/19 木 16:00 - 17:30	リワークの様子
10/21 木 16:00 - 17:30	家族の関わりとセルフケア
12/16 木 16:00 - 17:30	受診における主治医との相談の仕方

6月以降は第3木曜

※テーマは変更となる可能性があります。 ※新型コロナウイルスの状況によっては、オンライン開催への変更となる場合があります。

## 「ファミココ」とは？

ファミリーが「今、ココ」に集う場所。「Bowl に通所されている方のご家族をサポートするため」に始まった支援サービスです。ご家族との面談の際よく耳にする「悩み・心配事」、それらをより効果的に解消へ導くため、同じ境遇にあるご家族同士が話し合う場、分かち合う場を定期的に提供し、相互で安心感を得てもらうために開催しています。当事者を支えるご家族の悩み・心配事が解消され、家族全員がイキイキとすることが、当事者の復帰への一番の近道となります。

**対象** うつ病をはじめとする気分障害の方を抱えるご家族

**家族相談** 事前申込制（複数回利用可）

Bowl では家族相談も行っています。当事者を抱えるご家族が、ご本人の回復や職場復帰に関する相談など専門スタッフがお受けいたします。お気軽にお問合せください。

**会場** Bowl 浦添市伊祖 1-5-2 (1F) ※駐車場あり

**お問合せ** 「電話」または「LINE」にてお申込みください

● 電話はこちら

098-879-0167

(担当：大田・植山)

● LINEはこちら



## 消された精神障害者・私宅監置小屋を訪れて

千葉県・主婦 M（50代）

2018年、NHK ハートネット TV『消された精神障害者』という番組が放送された。

「どういう内容なの？」という探求心から観た番組であったが、心に深く刺さり、数年を経た現在まで忘れ去ることのない衝撃的なものであった。精神の病を患っている方々が病気の症状によりとってしまう“異常行動”に対して、社会防衛のため家族私設の監置小屋に閉じ込めていた歴史があったということである。官民・家族公認で行なわれた強制的な隔離だ。



沖縄に、現存する私宅監置小屋があるということを知り、機会があれば訪問して現状を知ることができたらとの思いがあった。私の息子は統合失調症で、幸いにも医療を施されているが、他人事とは思えなかったからである。



2021年4月初め、沖福連・山田会長の案内で訪れた沖縄北部某所の小屋の前に佇むと、その迫力に圧倒される。母屋の隣の草の茂みのなか、それは独房であった。コンクリート造りの小屋は手が入るだけの小窓と排せつ用のくぼみ、鉄の扉が朽ち果て落ちていた。

沖縄の夏はとびきり暑く、南国に慣れた体は冬期には堪えるに違いない環境だったろう。風通しも悪く害虫や台風の被害も想像する。そして薄暗い。夕暮れ時であったせいもあると思うが、時間帯を問わず暗かったと思う。私は50代、間もなく還暦を迎える年代である。私が病院で産まれたとき、この小屋のなかで医療を施されることもなく閉じ込められていた富俊さん。本土では病

沖縄の夏はとびきり暑く、南国に慣れた体



気になれば治療を受けられて当たり前の時代に、沖縄で幾多の不運が重なり、取り残され存在をなかったもののように扱われていた方々がいた事実。長い人生のうち、心の不調を一回も感じたことのない人間はいるのだろうか。軽快したとしてもそのとき感じたのが心の痛みであり、忘れてほしくない痛みである。好きで精神を患う人はいないと思う。誰でもなり得る病気であり、自分や我が子・孫がいつ発症するかも知れない。

息子や自分が60年前、この時代の沖縄に生まれて患っていたらと想像する。大切な息子を母屋から見える小屋に閉じ込めるしかなかったお母さんの気持ちは考えるのも辛いことである。いちばん苦しんだはずの富俊さんだが、書籍『消された精神障害者』(原義和著)に掲載されている晩年の穏やかな表情の写真を見ると、少し救われたような気持ちになった。

監置小屋に文字として刻まれたメッセージはない。しかし、その存在を現地で目の当たりにすることで、深く人の心に訴えかけるものがある。現地に居住されている方やご遺族の複雑な思いも十分理解できる。そのうえで、いま現在苦しむ当事者や家族の問題に重ねて語りかけてくれる歴史的遺構として存続されることを願っている。



◎編集後記◎

沖縄県も緊急事態宣言が発令されました。

「これ以上増えないで！」  
ただただ願うばかり・・・  
私たちができること。  
感染対策を心がけましょう  
(ナ)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会  
会長 山田 圭吾  
〒901-1104  
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1  
てるしのワークセンター内  
電話 098-889-4011 FAX098-888-5655  
E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)  
発行：九州障害者定期刊行物協会  
〒812-0054  
福岡県福岡市東区馬出 2-2-18  
電話 092-753-9722 FAX092-753-9723  
定価：10円(会費に含まれる)